



石部中学校 校報
湖南省宝来坂四丁目3-1
TEL:77-3781 FAX:77-6802
<http://www.edu.konan.jp/ishibe-jh/>

修学旅行体験記

4月24日(木)～26日(土)の3日間、修学旅行を実施しました。その様子を紹介します。

○1日目

早朝6:20JR石部駅集合。あいにくの小雨模様でしたので、一般客の迷惑にならないように注意しつつ、点呼は駅構内で実施。遅刻者もほとんどなく、集合を完了しました。

6:51発の臨時列車に乗り、JR京都駅に到着。新幹線乗車口のコンコースにて結団式を実施。修学旅行実行委員長等のあいさつの後、3日間お世話になる添乗員さん、カメラマンさんの紹介をしました。その後、8:12発ののぞみに乗り、一路博多まで。生徒はこれから始まる修学旅行に期待を持ちつつ少し緊張ぎみの様子で車中のひとときを過ごしていました。JR博多駅着10:52。約2時間半の乗車でしたが、あっという間に九州に到着。九州の風は少し肌寒く感じましたが、すばらしい晴天で湿度も少なくとてもさわやかでした。

11:20発の特急かもめで長崎に向け出発。振り子電車でしたので、カーブでは少し左右に揺れましたが快適な車内でした。乗車後、すぐに添乗員の方に弁当を配っていただき、食事。朝が早く、お腹も空腹気味でもありましたので、とてもおいしくいただきました。

長崎・JR浦上駅着13:20。市電にて浜口町電停に到着(15分ほど乗車)。原爆資料館の見学。多くの資料や写真、実物等を見学し、改めて戦争の恐ろしさと平和の大切さを実感しました。その後、爆心地にて平和セレモニーを実施。黙祷・千羽鶴の献鶴、平和アピールをした後、碑めぐりのガイドの方に挨拶をし、各班に分かれて如己堂や浦上天主堂等を案内していただきました。ガイドの皆さんは、直接原爆で被災された方でしたので、その話はたいへん重いものでした。

平和祈念像の前でクラスごとに記念写真を撮った後、再び市電に乗り、一日目の宿泊先である長崎全日空ホテルグラバーヒルに到着。2名～3名の個室で長崎の夜を過ごしました。

写真
(個人が写っているためカット)
(配布した校報をご覧ください)

長崎平和祈念像

○2日目

雲一つない晴天。朝6:30起床。少し寝不足気味でしたが、ほぼ時刻どおりに朝食会場に集合。朝食後、8時にロビーに集まり、班ごとに午前中の自主研修に出発。グラバー園や出島、大浦天主堂等を見学し、



草千里

10:30ごろ昼食場所のマリア館に集合。昼食を食べた後、昼過ぎに阿蘇をめざして長崎を後にしました。長崎は原爆を投下された平和祈念の町、鎖国の中で唯一貿易のあった異国情緒あふれる町、そしてキリスト教の祈りをささげた宗教の町です。滋賀にない様々な文化や歴史に触れることができ、有意義な時を過ごすことができました。

2日間お世話になるバスの運転手さんやバスガイドさんとお出会いし、約4時間ほどかけて阿蘇に到着。天気はよかったのですが、あいにくガスが発生していて、火口へは行くことができませんでした。予定を変更し、資料館の見学をした後、草千里の大きな草原をバックに記念写真撮影。30分ほどゆったりと草千里の大きな自然を満喫しました。その後、再びバスに乗り。

宿泊先である乙姫ペンション村には30分ほどで到着しました。芝生の広場で入村式をし、クラス別・男女別に各ペンションに分かれました。ペンションでの一夜は、今まで多くの生徒が体験したことのないもので、ゆったりと静かに時間が過ぎていきました。各オーナーさん自慢の手作りの料理も格別なものでした。

○ 3 日目

少し曇り空。朝6:30起床。しっかり寝られた生徒が多く、さわやかな朝となりました。入村式をした芝生の広場で離村式をし、お世話になったオーナーさんにお礼を言い、バスに乗車。阿蘇の雄大な自然を後にしつつ、スポーツ体験学習を行う「あびか」に30分弱で到着。風が強かったため、パラグライダーは中止。空の散歩を楽しみにしていた人には残念でした。各自の希望により、ディスクゴルフ、マウンテンバイク、スポーツカイト、乗馬体験をしました。日頃ではできない体験ができ、よい経験となりました。

食事後、バスでJR博多駅へ出発。2日間お世話になった運転手さんやバスガイドさんとお別れをし、博多駅で下車。コンコースで集合後、15:30発ののぞみにて一路滋賀に向かいました。

JR京都駅着18:00。コンコースにて解団式を行い、3日間お世話になった添乗員さんやカメラマンさんにお礼を言い、さらに3日間いろいろな任務を果たしてくれた実行委員や学級委員の皆さんにも拍手で感謝の意を表しました。

その後、学級ごとにバスに乗り、一路ふるさと石部に向かいました。JR石部駅には19:45ごろ、石部中学校には20:00ごろ着。お忙しい中、保護者の方の出迎えを受け、各自帰路につきました。

写 真
(個人が写っているためカット)
(配布した校報をご覧ください)

阿蘇・乙姫ペンション

3年生の皆さん、3日間の修学旅行はいかがでしたか？ いつもは昼間しか接しない友とまるまる3日間を過ごし、普段は見えない友達によさにも気がついたのではないのでしょうか。また、旅行先での様々な体験や感じたことは、一生の宝物として大切にしたいと思います。(これらの経験は、きっと皆さんの心のどこかにずっとあり、何かの時にふと思い出すことがあるかもしれません。)

(追記)

旅行中3年生の皆さんが落ち着いて行動できたことをたいへん嬉しく思っています。集合時刻には遅れる人もほとんどなく、しっかりと集まりました。また、バスガイドさんの話もしっかりと聞けたと思います。長崎での平和セレモニーも、厳粛に行うことができました。そして、何よりもみんな明るく、さわやかだったことがよかったと思っています。(ペンションのオーナーさんも、「落ち着いた生徒さんでした。」とおっしゃっておられました。)

なお、この旅行には旅行社の添乗員さんをはじめさまざまな方の大きな力が陰にあることを決して忘れないでください。

生徒会執行部が歌声でみんなをリード(全校集会で)

今朝行われた全校集会で、生徒会執行部のみなさんが前に立って校歌を熱唱してくれました。山村先生の話にもありましたが、全校の前で話をするのは大変緊張するものです。ましてや歌を歌うというのはかなり度胸のいることです。執行部の人たちは前日に集まって練習もしてくれていました。学校の誇りである校歌をこのようにして高らかに歌いあげようとする試みはとてもうれしいことです。「今年の生徒会は違うな」とみえています。

しかし、執行部だけががんばらばいいというものではありません。生徒会の一員である全校の一人ひとりが石部中学校の生徒であるという自覚と自信と誇りを表現できるよう、これからも活動していきましょう。

写 真
(個人が写っているためカット)
(配布した校報をご覧ください)

「はえある石部中学校」は、ここから！